

2018～2019 年度



THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH

越谷北ロータリークラブ

例会日:毎週水曜日 12:30～13:30

例会場:越谷市千間台東インペリアルビル 4 階

T E L 048(975)9898

F A X 048(977)3741

創 立:1976 年 5 月 11 日

会 長 : 吉澤 晴雄

副 会 長 : 宮崎 敏博

幹 事 : 中澤 伸浩

会報委員長 : 近藤 慎悟

第 2094 回 例会記録 No. 32

平成 31 年 4 月 3 日

司会 : 渡辺 裕介 編集 : 江口 公晴

会 次 第

1. 点鐘
2. ロータリーソング 「君が代」「奉仕の理想」
3. 四つのテスト 関 雄二郎 会員
4. 結婚・誕生祝い
5. 会長卓話
6. 幹事報告
7. 3 分間会員スピーチ 小林 光則 会員
8. 委員会報告
9. スマイル報告
10. 会員卓話
「ポラスグループ先代中内俊三社長の経営理念
について」 鈴木 英男 会員
11. 出席報告

次回例会案内 平成 31 年 4 月 16～17 日
会員親睦旅行(京都)

会長卓話



吉澤 晴雄 会長

皆様こんにちは。先週は検査のため休ませて頂きまして長谷川直前会長に会長代行をして頂き誠にありがとうございました。

今日、例会場に来て雰囲気が違うなと感じました。今日からショウちゃんがないのですよね。いつも受付のところで笑顔を振りまいていて明るい感じがしていました。1 年間、彼女はクラブにとって華をもたらしてくれた貴重な存在でした。今度はケニアから米山奨学生が来ますので太田会員を中心によろしく願っています。

いよいよ、桜の花も開花しまして春爛漫ですが、この 2、3 日風があつたり寒かつたりして非常に辛い状況です。絶対にひいてはいけない風邪をひいてしましまして咳が出ています。咳が出ると頭をハンマーで殴られたような状態になります。最初に診て頂いた医者は痛みがあつたらすぐに頭痛薬を飲むよう言われていたのですが、今診て頂いている医者からは頭痛

薬は極力飲むなという指示を受けています。最初のうち一日 2 回は飲んでいたので、今は我慢して二日に 1 回位で頑張っています。

4 月 1 日に新しい元号「令和」が発表になりました。予想した人はいないのではないかと思います。調べたところ奈良時代の福岡県太宰府にあった大伴旅人の庭で開かれた梅花宴で詠まれた歌の序文から採用されたそうです。跡地にある坂本八幡宮には既に沢山の観光客が訪れているとのことで、観光業界としては万葉集にちなんだ地を訪問するプロジェクトが立ち上がっていくのではないかと聞いております。興味がある方は昔の地を訪れるのもよろしいのではないのでしょうか。

今日は高校野球の決勝戦です。千葉県の習志野高校と愛知県の東邦高校が対戦しますが、東邦は強く投手はプロ級です。甲子園が始まる 1 週間前、私が外部指導している叡明高校野球部と習志野高校、二松学舎の 3 校で練習試合を行いました。習志野高校から甲子園に向けての調整で試合をしたいと申し込みがありました。1 試合目は二松学舎と習志野高校でした。飯塚君が投げたのですが、ネット裏には巨人を含めてスカウトが 8 球団来ていました。強打の二松学舎が全く打てないのです。二松学舎も甲子園へ行くようなチームですが 5 回までにホームランを 3 本打たれ 6-1 で習志野高校が勝ちました。2 試合目は叡明と習志野だったのですが、飯塚君を見たらもういいのか、プロのスカウトは全員帰ってしまいました。叡明の試合で投げたのは山内君。新 2 年生の左投手ですがすごい球でした。2 ストライクに追い込むと次はシンカーと分かっているにもかかわらず打てないのです。いい投手がいないと甲子園には行けないのかなと思いました。試合は叡明が 11 安打、習志野 8 安打でホームランを打たれた分 5-3 で叡明が負けてしまいました。我々スタッフとしては習志野を相手にそれだけの試合ができてきていることで、今年の夏の大会は面白いかなと思っています。越谷から甲子園を出したいと一生懸命

頑張っていますので、皆様も叡明高校を応援して下さい。

野球の話をしているときは頭痛がなくなるのですが終わるとまた始まってしまいます。神経の頭痛なのですね。

習志野高校のサイン盗みが話題になっていましたが、県予選から行ってかなり噂になっていました。今に始まったことではなくどこの高校もやっていることで、アクションを起こすと分かりやすいので「レッツゴー」等と言葉で教えたりしています。今日の決勝を楽しみにしています。

以上をもちまして本日の卓話とさせていただきます。

幹事報告



中澤 伸浩 幹事

- ・本日例会終了後に第 10 回理事役員会を開催いたします。
- ・ショウちゃんの寄せ書きの色紙を回していますので一筆お願いします。
- ・地区より小宮山会員に RLI パート II の修了証が届いています。
- ・R 米山記念奨学会より太田会員に 2019 学年度米山記念奨学生カウンセラー委嘱状が届いています。

結婚・誕生日祝い



結婚祝い: 稲垣 勝三 会員・酒井 新樹 会員
今井 英治 会員・新沼 徹 会員
誕生日祝い: 小林 光則 会員・山本 正乃 会員
今井 英治 会員・新沼 徹 会員



3 月にご結婚された渡辺裕介会員に
花束贈呈



稲垣 勝三 会員

結婚 54 年になります。どちらも欠けることなく生きながらえておりますが、究極は樹木希林さん夫婦のようになりたいですね。どちらかが逝ってもすぐにもう片方が追いかける、子供や親戚達に迷惑をかけないように逝きたいと願っております。今日は結婚祝いありがとうございました。

3 分間会員スピーチ



小林 光則 会員

皆様こんにちは。

3 分間という短い時間ですので簡単に話をしたいと思います。

白内障の手術を一昨年の 12 月 1 日に左目、昨年の 7 月 1 日に右目をしましたので、その経験談を話したいと思います。

ただし、白内障といっても私の場合はごく初期でして、本来ならばまだ手術の必要はないといわれる程度でありました。

しかしながら視力といいますが、若い頃は 1.5 あったものがその当時 0.6 から 0.7 程度まで落ち込み、そこにひどい乱視も加わり、強いめがねでも矯正できない程度になってしまっていました。

何とかならないかと三年ほど前に慈恵医大の眼科を受診しましたが、その折にあと二年程度するとものごく進化した眼内レンズが開発されるのでそれまで積極的な手術などは控えたほうが良いというアドバイスを受けました。その新開発された眼内レンズを昨年の白内障の手術のときに水晶体の中に挿入したというわけです。

手術は、所要時間は片目 15 分程度、痛みはほとんどなく、術後 3 時間程度安静にしているだけで、翌日には眼帯も取れ、その瞬間から視力は回復しておりました。

白内障の手術に使用する眼内レンズというと従来は単焦点のレンズが主流でしたが、私の場合はいわゆる遠近両用のレンズで遠くも近くも見えるというもの

なのです。

結果として視力は現在両目とも 1.2 まで回復し、乱視もなくなりメガネの必要がない生活を取り戻せました。

いまでは視力の低下と共にやめてしまったゴルフも再開し、自分の打ったゴルフボールが青空の中に吸い込まれていき、フェアウェーに落ちるところまで確認できることのうれしさといったら、何者にも換えられない爽快感です。

感謝 !! です。

RLI 修了、米山カウンセラー委嘱



RLI パートII 修了 小宮山 大介 会員



米山カウンセラー 太田 靖彦 会員

委員会報告

米山記念奨学委員会 川島 徹 委員長

本日、午後 6 時より越谷駅西口「ココチーノ地中海酒場」にて、ショウタンヨウさんの送別会を開催いたします。参加者の皆様はよろしくお願いいたします。

親睦活動委員会 本間 睦人 委員長

再来週、京都親睦旅行があります。来週の例会前 11:30 から説明会を行います。旅行代金納入の FAX を近日中に送信しますのでご入金をよろしくお願いいたします。19 名参加の予定です。

会員卓話



鈴木 英男 会員

「ポラスグループ先代中内俊三社長の 経営理念について」

今日はポラスグループの創業者、中内俊三社長と私との出会い、経営理念についてお話をさせていただきます。

中央住宅、そしてポラスグループの創業者で、「南越谷阿波踊り」をも始めた中内俊三社長は、平成 17 年 6 月 10 日に他界されました。享年 67 歳でした。その前の平成 11 年 1 月 24 日、日曜日の朝、「くも膜下出血」で倒れ直ぐに救急車で病院に搬送されました。以後療養を続け、一日も早い回復を願っていましたが、残念ながら回復を見ることは出来ませんでした。

私が中内社長と初めて出会ったのは、昭和 42 年 (1967 年)、埼玉縣信用金庫の草加支店で、融資係を担当していた時です。ある時、私の融資カウンターの前に小太りの方が座ったのです。私は、その人を見てびっくりしました。と言うのは、良くバナナの叩き売りをやっているのを見掛ける人だったからです。この人が、後に中央住宅の代表取締役になり、そしてポラスグループの代表になられた中内俊三社長だっ

たのです。そして、私との初めての出会いでもありました。

この当時、中内社長は四国徳島からボストンバッグ一つを持って上京し、バナナの叩き売りをやっておりました。私が一日の仕事を終え、同僚とちよっとお酒を飲んで帰ることがありました。私は最寄りの大袋駅を夜の 10 時、11 時頃に降りますと、駅の傍らで古い小さな車の荷台に乗り、捻りハチマキをして大きな声を出し、一生懸命にバナナを売っている人を良く見掛けました。私は、『こんなに夜遅くまで、随分仕事熱心な人だなあ』と思い、何時も見ておりました。

私もバナナを買った事があります。買ったバナナは新聞紙にくるくるっと巻いて「どうも有り難う」という感じでした。

中内社長は、社員の前で、良くバナナを売って当時の話をされました。そして「商売の基本は、バナナを売ることによって学んだ」とも言っておりました。『その日の内に仕入れたバナナは、その日の内に売ってしまう』と言うのが、中内社長の商売の鉄則であったようです。

この人が今、私の融資カウンターの前に座ったのです。坊主頭で半ズボンをはき、雪駄を履いておりました。私が「バナナ屋さんでしょ、良く見掛けますよ」と言いますと、先方もビックリしておりました。

話を聞いて見ますと「不動産業を始めるについて、どうしても 40 万円の資金が必要なので貸して欲しい」と言うのです。話を聞いても、私どもの金融機関と取引はありませんし、担保などありません。本来なら到底、融資の相談に乗れる話ではありません。でも、私は夜遅くまで、一生懸命にバナナを売っている姿を何度も見ておりました。あんなに夜遅くまで一生懸命に商売をしているのだから、この人であれば融資をしても返済は間違いないだろうと思い、私は上司、支店長に事情を説明し、「何とか融資をして頂きたい」と真剣に繰り返しお願いをしました。

最初、首を振っていた上司・支店長も、最後に「鈴

木さんがそこまで言うのであれば……」と言う事で、奥様を連帯保証人にし、40 万円の融資をすることになったのです。当時の 40 万円、今の金額に直しますと 400 万円位になるかと思えます。私も、夜遅くまで一生懸命にバナナを売っている姿を見ていなければ、融資はお断りしていたと思います。

私は、このようにして 40 万円を融資したものの、果たして返済して貰えるだろうか、心配でたまりませんでした。でも、中内社長は 1 週間から 10 日おきに返済に見え、全額期日前に返済になったのです。

私はこの 40 万円を融資して、暫くして中内社長から初めて聞かされました。『鈴木さんが担当して 40 万円融資してくれた時、実はその前に草加市内の金融機関を 5 カ所程廻ったのだけど全部断られてしまったんだ』そうです。そして、最後に行ったのが埼玉縣信用金庫で、あの時 40 万円融資してもらった時は嬉しくて涙が出てしまい、家に帰って奥さんと一緒に喜んだそうです。これで、「この地で不動産業を遣っていける」と言う自信が持てた」と言っておりました。

そして、中内社長は、「あの時 40 万円融資して貰えなかったら、自分はもう不動産業は諦め、四国に帰って農業や果樹園をやるつもりだった」と言う事を初めて聞かされました。中内社長は、40 万円の融資を受けていなかったら、本当に四国に帰っていたかも知れません。そうしますと、この地に中央住宅と言う会社、そしてボラスグループは存在していなかったかも知れません。また、毎年 8 月に行なわれている「南越谷阿波踊り」も、開催されていなかったかも知れません。

中内社長は、徳島県立板野高校の農業科を卒業しております。大学も出ておりません。ただ、高校の時には生徒会長をやるなど、成績はかなり優秀であったようです。

この当時、中内社長は東京都葛飾区の狭いアパートに奥さんと子供たちで住んでおりました。

そして、自分の住まいを持つ事を目標にしておりました。そんな時、「東武線の新田駅東口に購入した狭

い土地に二階建ての建物を建てたいので、今度は 70 万円融資して欲しい」と言う依頼がありました。私は、前に融資した 40 万円がキチンと返済されていたので、何ら問題なく埼玉縣信用金庫が窓口になって住宅金融公庫から 70 万円の融資をさせて頂きました。

土地は 20 坪足らずの狭いところに、2 階建の建物を建て、1 階を事務所、2 階を住まいとして使うようになりました。中内社長は念願であった住まいを手にする事が出来たのです。そして、後にここが中央住宅発祥の地になります。

中内社長は、昭和 44 年(1969 年)7 月に資本金 10 万円で『有限会社中央住宅社』と言う会社を設立し、代表取締役になられたのです。社長が 31 歳の時でした。

この『中央住宅社』の中央と言う名前は、「常に住宅産業界の中央に位置したい、そして住宅産業界で燦然と輝く北極星のようにになりたい」と言う中内社長の思いがあって、「中央」と言う名前が付けられたのです。

このようにして、埼玉縣信用金庫と中央住宅の取引は、徐々に拡大していきました。

そして、私は昭和 49 年(1974 年)4 月に草加支店から大宮支店に転勤になりました。私が大宮支店に転勤になると同時に、中内社長から「鈴木さん、中央住宅に来て、管理部門を指導してくれないか、管理部門が弱くて困っているんだ」と言う話が出てきました。私は金融機関を辞める理由は何もなかったのですが、断り続けてきましたが、最後は中内社長の熱意に負け、埼玉縣信用金庫を退職し中央住宅に移りました。昭和 58 年(1983 年)6 月、私が 45 歳の時でした。私はこのようにして中央住宅に移りましたが、随分戸惑いもあり、苦労もありました。

私は中内社長が「くも膜下出血」で倒れた後、病院・自宅に何度もお伺いしました。歩くこともできずにベッドに横たわっている社長の姿を見て、私は涙が止まりませんでした。四国からボストンバッグ一つを持って

上京し、バナナの叩き売りをやりながら会社を創り、当時のグループの売上高を 1000 億円にまでした社長が何故倒れ、社長一人が苦しまなければならないのかと思った時、涙で社長の顔を見ることが出来ませんでした。

そして、社長の看病が一番大変だったのは、奥様であったと思います。私は奥様の言葉にも心を打たれました。奥様は「主人が元気な頃は、毎日毎日が仕事で忙しく帰りも遅く、一緒に夕飯を摂ることは殆どなかったんですよ。又、二人で落ち着いて会話をする時間もありませんでした。でも私は、今は毎日こうして主人の傍にいて看病が出来、今が一番幸せなんです。」とおっしゃるのです。私は、奥様のこの暖かい言葉に心を打たれました。また、社長もどんなにか気持ちが休まったことでしょう。

中内社長が亡くなられた後に、秘書が社長の机の引き出しを整理しておりましたら、奥の方からバナナを売っていた当時に使っていたゴム印が出てきたのです。このゴム印を中内社長は大事に保管していたのです。そして、社長なりに大変な苦しい事があると、恐らくそのゴム印を見ながら苦しかった創業当時の事を思い、社員、社員の家族ため、そして職人さんの事を思い、身を粉にして頑張つて来られたに違いありません。

次に、「南越谷阿波踊り」について少しお話させて頂きます。昨年は 34 回目を迎え 8 月 24 日(金)が前夜祭、25 日(土)と 26 日(日)が本番で開催されました。昨年は踊りに参加した連が 79 連で、踊り手が 6,500 人、観客が延 70 万人と報道されています。この阿波踊りを始める前は、草加、越谷の 7 カ所程で、毎年中央住宅が主催し盆踊りを行っておりました。これを一つに纏めたのが「南越谷阿波踊り」です。何時も建築工事で迷惑を掛けている地域の皆さんに、恩返しをしたいと言う中内社長の思いがあって南越谷で始められたのです。

当初は観客も少なく運営も大変でした。流し踊りの会

場も東口だけでしたが、今は西口にまで広がり4つの会場が演舞場として、道路の両側は観客で埋めつくされています。越谷コミュニティセンターの大ホールと小ホールでは、舞台踊りも開催され、通路まで観客で歩けないほどです。

阿波踊りは毎年、全国各地で開催されていますが、一番が徳島の阿波踊り、二番目が東京の高円寺、そして三番目が南越谷の阿波踊りで、日本三大阿波踊りとまで言われるようになりました。

また、平成 25 年 7 月には、南越谷駅の所に南越谷阿波踊りのモニュメントが出来、除幕式が行われました。今後ともこのモニュメントが待ち合わせの場所になったり多くの市民に愛されていくものと思います。

最後に、配付された資料により、「経営の根源」 「中内語録」より、経営理念についてのお話がありました。

中内後三社長の経営の根源 越谷北ロータリークラブ
鈴木 英男



〔中内語録〕

- ① 土地は国民全体のものである。
- ② 絶えず時代の要請に応え、新しい暮らし文化、地域文化の価値の創造に努め、お客様のより豊かな、そしてより美しく幸せな、安全で安心して暮らせる暮らしづくりに貢献し、もって社会の発展に寄与する。
- ③ 今日の商品に明日には昨日の商品であり、利益を上げると言う事は「新しい商品」を作り出す事である。ただ働いているだけでは利益は生まれない。
- ④ 人間が機械や動物と違うのは、常に新しい目標要求を知恵と努力で達成する事であり、目標達成が出来ない場合に全ての問題が発生する。
- ⑤ 一流の会社、一流の人物、一流の文化と接しよう。一流は必ず伸ばらしい独特のエキスを持っている。
- ⑥ これからは職業訓練校による人づくりが必要である。
- ⑦ 「南越谷阿波踊り」が、すっかり定着するまでには30年かかる。30年後には埼玉を代表する祭りになっているものと確信している。(1990年 第6回開催時に)
- ⑧ 「南越谷阿波踊り」が地域の人々にふるさと意識を呼び起こし、地元越谷が誇る「文化」にしていきたい。



 **スマイル報告** 

・本日もよろしくお願い致します。

吉澤 晴雄

・鈴木さん卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。

中澤 伸浩

・結婚祝ありがとうございます。

稲垣 勝三 酒井 新樹 渡辺 裕介

・誕生日祝ありがとうございます。

小林 光則

・誕生日 & 結婚祝ありがとうございます。

今井 英治

・新しい元号「令和」で始まる来月からの新時代に夢と希望を持ちましょう！！鈴木さん卓話楽しみにしています。

大熊 正行

・鈴木さん卓話楽しみです。本日もよろしくお願ひいたします。

高 瑠美子 青木 清

・今日は久しぶりに卓話の依頼を受け緊張しております。

鈴木 英男

・鈴木様卓話よろしくお願い申し上げます。小林光則様 3 分間会員スピーチよろしくお願い致します。

松崎 義一

・今日 18 時から越谷西口地中海ココチーノでショウちゃんの送別会です。沢山の出席をお願いします。

木村 二夫

・IM 記念ゴルフに参加してきました。当クラブでは一柳さんの 13 位が入賞でした。

堀野 眞孝

・IM チャリティゴルフ参加、久しぶりに楽しませて頂きました。一柳さんさすが。堀野さん 3 パットなし。お二人ありがとうございました。

浅野目 猛

・本日も宜しくお願ひ致します。

佐藤 要

出席報告

会員数	47 名
出席免除者	12 名
出席者	34 名
欠席者	13 名
出席率	79%

邵 丹陽(ショウタンヨウ)さん送別会

2019 年 4 月 3 日(水)

ココチーノ地中海酒場

2018 学年度の米山記念奨学生邵丹陽さんの送別会が越谷駅西口のココチーノ地中海酒場にて行われました。北クラブのマスコットの存在でメンバーから愛されたショウちゃんの卒業をお祝いするとともに、これからのご活躍を祈念いたします。



寄せ書き贈呈



和やかな送別会でした



ショウちゃんのご挨拶



常さんも来てくれました



花束贈呈



これからも頑張ってください！